

連続ウェブセミナー

「書籍を通じて世界を理解する:コロナ時代の国際理解」

新型コロナウイルスにより、海外への渡航が著しく困難な時代を迎え、国際理解の機会が大きく損なわれています。この状況に対して、世界各地の政治・文化・社会に深い造詣を持つ地域研究者が著した書籍を読み、同時にその著者からオンラインで直接話を聞くことで、国際的な諸問題に対する関心を呼び起こし、国際理解を進めてゆきましょう。

講師とその書籍、開催日時

第1回 10月22日 12:50-13:50

岡奈津子先生(アジア経済研究所)

『＜賄賂＞のある暮らし 市場経済化後のカザフスタン』(白水社、2019年)

第2回 11月19日 12:50-13:50

村上薫先生(アジア経済研究所)

『不妊治療の時代の中東 -家族をつくる、家族を生きる-』(アジア経済研究所、2018年)

第3回 12月10日 12:50-13:50

細田尚美先生(長崎大学)

『幸運を探すフィリピンの移民たち 冒険・犠牲・祝福の民族誌』(明石書店、2019年)
(発展途上国研究奨励賞と大平正芳記念賞をダブル受賞)

第4回 12月24日 12:50-13:50

浜中新吾先生(龍谷大学)

『中東諸国民の国際秩序観 世論調査による国際関係認識と越境移動経験・意識の計量分析』(晃洋書房、2020年)

参加方法

右下のQRコードあるいは以下のURLアドレスから専用サイトにアクセスいただき、参加登録をお願いいたします。開催期日が近づきましたら、メールで参加方法をご連絡致します。

登録専用サイトアドレス <https://forms.gle/piw2P5qW7pugudaz5>

主催 宇都宮大学国際学部 松尾研究室

共催 宇都宮大学国際学部 附属 多文化公共圏センター

